

## 令和6年度 立川市立松中小学校 授業改善推進プラン

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取り組み
学校の教育目標	やさしく    かしこく    たくましく
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識とそれを日常で活用する力</li> <li>○考える力と表現する力</li> <li>○挑戦したり最後まで頑張ったりする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①朝学習で継続的に課題に取り組む。</li> <li>①本時のめあての設定。</li> <li>②問題解決的な学習過程の確立。(マグネットの活用)</li> <li>③自分の思いや考えを表現する場を意図的に設定。</li> <li>④考えを共有する場の設定。</li> <li>⑤練習問題に取り組む。</li> <li>⑥最後まで努力したことを認め、価値付ける。</li> </ul>

※①～⑥は、全教科共通して取り組む内容です。普段の授業、授業観察等で何を重視した授業か分かるように番号を記入しました。

No.	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すすんで読書に取り組み、語彙力を身に付ける。</li> <li>○漢字、文法の定着</li> <li>○表現力(作文の構成、根拠、文法)を身に付ける力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間30冊以上の読書为目标設定し、「目的をもたせた読書」「読んだ本の記録」の2点に取り組めるようにする。</li> <li>○朝学習で簡単な文法練習を行い、基礎学習の徹底を行う。既習の漢字テストを年に数回行い、既習の漢字に出会う場を意図的に設ける。</li> <li>○自分の考えとその根拠を書く場を設ける授業展開にする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料の中から、必要な情報を読み取る力</li> <li>○必要な情報を比較したり、関連付けたりしながら課題を解決する力</li> <li>○調べたことや学習したことをまとめ、表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実生活と関連付けたり、ICTを活用したりしながら、集めたい情報に合わせて効果的に資料を取捨選択する方法を指導する。</li> <li>○課題に対して見通しをもたせ、目的意識をもって情報を読み取らせるようにする。</li> <li>○学んだことや調べたことを多様な方法でまとめ、自分の考えをもたせるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算、時刻と時間、図形といった基礎基本の定着</li> <li>○文章や図から数量関係を適切に読み取り演算決定や立式をし、問題を解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の課題に合わせて、プリントやデジタルドリル、ページドリルを活用し、朝学習や宿題で反復練習をする。</li> <li>○ポイントとなる言葉や数字に印を付けたり、考え方等に赤ラインを引いたりさせ、図や式などへの表し方を繰り返し指導し、数量関係を適切に読み取れるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に問題を解決するために必要な実験技能の習得、理科用語の理解</li> <li>○観察・実験方法や結果から結論を考察できる力</li> <li>○粘り強く問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員が実験・観察ができる環境を整え、適切な理科用語を使って説明するよう指導する。</li> <li>○児童が考えて解決できる場を設定する。例えば、既習事項を基に予想したり、条件を制御して観察や実験を行ったり、観察・実験結果を比較したり、関係付けたり、多面的に考えたりできるように指導する。</li> <li>○自分が見出した問題を最後まで解決させる場を設定し、自分の問題として取り組める場を設定する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や自然、身近な人々と、自分自身との関わりに目を向け、その良さに気付く力</li> <li>○学習したことを表現して伝える力</li> <li>○意欲や自信をもって学ぼうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や自然、身近な人々と直接関わる活動や体験を重視する。</li> <li>○学習のまとめの場面で、学習カードや多様な発表の仕方を取り入れ、相手意識をもって、表現する場を設定する。</li> <li>○児童の興味・関心を大切に、活動の楽しさや満足感、達成感などの手ごたえを感じさせる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲のよさを味わいながら聴き、思いや意図をもって表現する力</li> <li>○互いの意見や表現のよさを認め合い、主体的に聴いたり、表現したりしながら音楽活動の楽しさを味わう態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ活動を取り入れ、気付いたことや感じたことを他者と交流することで音楽に対する価値意識を広げ、それを表現に生かせるような授業展開を図る。</li> <li>○互いの気付きや表現のよさを視覚的に共有できるよう、ICTを効果的に活用する。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を活用して、創造的につくったり表したりする力</li> <li>○造形的な特徴を基に自分なりのイメージを表す力</li> <li>○つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近で扱いやすい材料や用具を用い、用具の基本的な扱いが身につくよう、段階をおって丁寧に指導する。また、自分の表したいものが自分の力で表せる喜びを味わわせる。さらに、体全体の感覚を働かせる活動を取り入れ、のびのびと表現できるよう支援する。</li> <li>○材料などに触れ合う時間を大切に、形や色の組み合わせ、手触りなどの感じを捉えさせ、表したいイメージを造形的特徴と結びつけ、効果的に表せるように支援する。</li> <li>○相互鑑賞の機会を多くもち、自己肯定感を高めるとともに、多様な表現を互いに認め合える雰囲気育てる。児童が自分の思いや考えに自信をもてるよう、共感的に寄り添い指導する。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭生活に必要な知識を習得する力</li> <li>○学習したことを生活場面に生かそうとする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを家庭で実践することができるように、トライカードなどの課題に取り組ませる。また、その実践を児童が共有し合えるようにする。</li> <li>○生活の中にある課題の解決方法のアイデアを交流する時間を設定する。</li> </ul>

<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な動きや技能の定着</li> <li>○自己の課題を見つけ、児童自らが考え、工夫しながら他者にやり方を伝える力</li> <li>○運動に親しみ、健康保持増進と体力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファの紹介動画を視聴し、動きを長く続ける力を高める運動を実施する。(主な領域:多様な動きをつくる運動遊び、多様な動きを作る運動、体の動きを高める運動)</li> <li>○学習カードや動画を視聴したり、自分の動きを撮影したりしながら動きのポイントを理解できるようにする。</li> <li>○運動をすることの面白さを体験させ、できる喜び、体を動かす爽快感に気付かせる。する、見る、知る、支える視点も指導する。</li> </ul>
<p>外 国 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能と表現力</li> <li>○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力</li> <li>○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図り伝え合う態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的にパフォーマンステストを実施し、そのテストで必要とされる表現等を反復して練習する時間を設ける。</li> <li>○何度も聞いたり、話したりして音声に十分に慣れ親しんだ上で、語順を意識しながら書く時間を設ける。</li> <li>○児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れる。自己表現活動の場面設定を工夫し、自信をもって表現できるようにする。</li> </ul>